

北広島市
まち・ひと・しごと創生総合戦略
素案

北海道北広島市

I はじめに

1 総合戦略策定の趣旨



2 総合戦略の位置付け

本戦略は、まち・ひと・しごと創生法第10条に基づく「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」として策定するものであり、国及び北海道が策定するまち・ひと・しごと創生総合戦略を勘案し、本市の実情に応じた創生に関する施策推進のための目標や基本的方向等を定める。

また、本戦略は、まちづくりの指針である「北広島市総合計画」に基づく基本計画に位置付け、人口減少問題への対応に特化した計画として定めるものであり、その政策分野は、国が示す4つの基本目標（①地方における安定した雇用を創出する②地方への新しいひとの流れをつくる③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する）を踏まえた内容とする。

3 推進期間

総合戦略の推進期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間とする。

Ⅱ 基本的な考え方

戦略推進の基本方針

- 1 人口減少問題に対する認識を共有する
- 2 人口減少への対応は「待ったなし」の課題である
- 3 市民の希望の実現に全力を注ぐ



戦略の推進管理

- 1 重要業績評価指標（KPI）に基づく進行管理
- 2 PDCAサイクルに基づく戦略の推進
- 3 総合戦略推進会議による戦略の効果検証

Ⅲ 基本目標

「北広島市人口ビジョン」における本市の将来展望を踏まえ、4つの基本目標により、地方創生に資する具体的な取組みを推進する。各基本目標には、取組みの成果を検証するため、数値目標を設定する。

【4つの基本目標】

基本目標 1	希望 ～子どもを産み育てたいという希望を叶える～
基本目標 2	交流 ～北広島市への新しい人の流れをつくる～
基本目標 3	成長 ～時代に合った魅力的なまちをつくる～
基本目標 4	挑戦 ～チャレンジできる環境をつくり、起業と雇用を促進する～



IV 重点戦略

基本目標 1

『希望』～子どもを産み育てたいという希望を叶える～

<現状>

- ・本市は、子育て支援を重点的に取組む施策に位置付け、安心して子どもを産み、健やかに育てられるまちづくりを推進している。
- ・一方で、出産、子育てに関する市民意識調査等では、市に期待する内容として医療機関や保育サービスの充実等についての意見が多い。

1 数値目標

指標	基準値 (H20～24)	目標数値 (H31)
合計特殊出生率	1.09	1.28

2 基本的方向

- ・若い世代の未婚率の上昇、晩婚化・晩産化が少子化の要因となっている。個人の意思を尊重しつつ、結婚し、安心して子どもを産み育てたいという希望を叶えることを目指し、結婚から妊娠・出産・子育てまでライフステージに応じた切れ目のない支援を推進する。
- ・子育てに関する市民の満足度を高め、北広島市で子ども産み、育てたいという気持ちにつながられるよう、さらなる子育て環境の充実に向けた取組みを推進する。
- ・近年、核家族化や少子化の進展に伴い、育児への不安感や孤独感を抱える母親が増えていることから、子育ての不安を解消し、安心して子育てができるよう、母親一人一人に寄り添った支援を推進する。
- ・結婚・出産・子育ての希望を実現するうえで、仕事と子育てを両立できるような働き方を見直すことも重要な課題である。特に、子育て世代の男性の育児休業取得率は低く、家事や育児に費やす時間も少ない実態があり、こうしたことが女性の社会参加を妨げる要因となっていることから、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組みを推進する。



3 具体的な施策と重要業績評価指標

分類	具体的な施策・事業	重要業績評価指標 (H31)	担当課
未婚化・晩婚化への対応	<p>◎結婚を希望する方への支援</p> <p>結婚を望む方々へ出会いの機会を提供し婚活を支援する。</p> <p>(具体的な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北広島婚活支援事業 	婚活支援事業開催数 4回以上	企画課
安心して出産できる環境の整備	<p>◎出産できる環境の整備</p> <p>産科の充実が市民の期待の高い内容であり、安心して出産できる環境を整えるため、産科の誘致を目指す。そのため、誘致に向けた支援体制の充実を図る。</p> <p>(具体的な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産科誘致推進事業 	産科の開設 1件	健康推進課
	<p>◎通院に要する費用の支援</p> <p>産科の誘致が実現するまでの当面の措置として、通院に要する費用を支援することで、妊産婦の負担を軽減し、安心して出産してもらうための環境を整備する。</p> <p>(具体的な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦健康診査通院交通費助成事業 	出生数の増加 346名 (H26) →***名	健康推進課
	<p>◎不妊治療への支援</p> <p>子どもが欲しいけれどなかなか授からない夫婦を対象に、不妊治療に要する費用を支援する。</p> <p>(具体的な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療助成事業 		



分類	具体的な施策・事業	重要業績評価指標 (H31)	担当課
安心して子育てができる環境の整備	◎子育てに向けた支援 子育て世帯の経済的負担の軽減と、出産前後における育児・家事等の支援を目的に各種サービスを出産祝い・子育て支援として提供する。 (具体的な事業) ・健やか子育て支援事業 ※ファミリーサポート利用券交付、ヘルパーの派遣、出産祝い金の支給。	乳幼児を安心して育てられる環境の満足度 ^{※1} 8.5% (H26) →**%	児童家庭課 保育課 健康推進課 保険年金課 子育て支援センター
	◎多子世帯に対する子育て支援の充実 多子世帯の経済的負担を軽減するため、第3子以降の保育料等に要する費用を支援する。 (具体的な事業) ・多子世帯子育て支援事業		
	◎子ども医療費の助成 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、通院に要する医療費の助成を中学生まで拡大する。 (具体的な事業) ・子ども医療費助成事業		
	◎仕事と家庭の両立支援 ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、市民や事業者の意識啓発に取り組む。また、出産や子育てによりキャリアブランクのある女性の再就業を支援する。 (具体的な事業) ・男女平等参画推進事業 (ワーク・ライフ・バランス推進) ・雇用促進事業 (働きたい女性のための復職支援)	セミナー開催数 4回 復職支援による就職率 ***%	政策広報課 商業労働課

※1 市民意識調査 (H26 年度) における「保健・医療・福祉 (◎乳幼児を安心して育てられる環境の充実) の満足度 (満足・やや満足)。



基本目標 2

『交流』～北広島市への新しい人の流れをつくる～

<現状>

・本市には、旧島松駅通所や寒地稲作発祥の地などの歴史遺産や、いちご農園や「食」と「農」に触れ合える農場、大型商業施設、ゴルフ場、エルフィンロードなど多様な魅力ある観光資源が数多く存在している。また、札幌市と新千歳空港の中間に位置する地理的優位性や豊かな自然環境に育まれた住環境もまちの魅力の一つである。

1 数値目標

指標	基準値 (H26)	目標数値 (H31)
転入者数	2,403 人	2,700 人

2 基本的方向

- ・ 人口減少が進むなか、人口減少の影響を緩和し、地域の活力を創出するためには、移住・定住の促進や国内外からの交流人口の拡大など、新たな人の流れをつくる。
- ・ 本市が有する様々な地域資源やまちの魅力を国内外に向けて発信するシティセールスの取組みを推進することで、北海道における本市のプレゼンスを高め、「住みたいまち」「訪れたいまち」として「選ばれるまち」を目指すため、まちのブランド力を磨き、発信力を高め、戦略的な取組みを推進する。
- ・ シティセールスでは、道都札幌市の持つブランド力を活用するなど、札幌圏の近隣自治体と連携した取組みを推進する。
- ・ 子育て世代のU・Iターンを促進するため、子どもの安心と高齢者の安心につながるような、多世代住宅環境の創出など新たな定住施策を推進する。
- ・ ふるさと納税では、全国的な傾向として、返礼品が地域の活性化やまちの知名度向上に有効な手段となっている現状があることから、ふるさと納税返礼品の導入により、本市を知ってもらい、訪れてみたくなるような視点での取組みを推進する。



3 具体的な施策と重要業績評価指標

分類	具体的な施策・事業	重要業績評価指標 (H31)	担当課
定住促進	◎定住促進に向けた住宅支援 市の魅力を知ってもらい、将来的な定住につなげていくため、若年層をターゲットとした住宅支援に取り組む。 (具体的な事業) ・若年者住まい安心サポート事業 ・大学生引越費用支援事業	定住率 **%	企画課
	◎多世代住宅取得支援 子育て世代を対象に、親世代との同居・近居の実現に向けた、住宅取得支援に取り組む。 (具体的な事業) ・子育て世代マイホーム購入サポート事業	多世代住宅支援件数 120件	
観光・シティセールスの推進	◎地域の特色を生かした観光推進 訪日外国人観光客等の誘客による交流人口の拡大を図るため、エルフィンロードなどの地域資源の活用と、観光案内所・観光案内板、無料公衆無線 LAN (WI-FI) などの環境を整備する。 (具体的な事業) ・サイクルツーリズム等観光拠点整備事業	観光入込客数 789千人 (H26) →850千人	商業労働課
	◎ふるさと納税 市の知名度向上を目的に、来市に誘導できるような、直接まちを知ってもらい、感じてもらえるようなふるさと納税返礼品を導入する。 (具体的な事業) ・ふるさと応援事業	ふるさと納税返礼品による来市者 50名	企画課
人の流れをつくる	◎大学進学支援 将来のまちの担い手となる人材育成を目的とした奨学金制度を創設する。 (具体的な事業) ・ふるさと奨学金事業	進学支援 30名	企画課



基本目標 3

『成長』～時代に合った魅力的なまちをつくる～

<現状>

- ・本市における人口減少と少子高齢化の進展は、年齢構成別の人口に隔たりを生じさせ、まちづくりを進めるうえで大きな課題を明確にしている。その一つが、特に高齢化が進む、北広島団地といえる。
- ・本市は、「都市データパック 2015 年版（東洋経済新報社）」住みよさランキング 2015 において、北海道内 35 市中、2 年連続第 1 位となっている。

1 数値目標

指標	基準値 (H26)	目標数値 (H31)
北広島市を住みよいと感じる市民の割合※2	77%	**%

※2 市民意識調査 (H26 年度) における「生活環境 (住みよさ)」（住みよい・どちらかといえ
ば住みよい) の割合。

2 基本的方向

- ・ 北広島団地地区は、まちの核となる住宅団地として造成され、今日まで 45 年余りが経過し、この間、まちの発展をけん引する地区として成長し続けてきた。10 年後、20 年後も、北広島市が自立したまちづくりを進めるため、北広島団地地区を再び、まちをけん引する地区として活性化を推進する。
- ・ 住み替え支援の仕組みづくりや、公共交通の充実など、様々な取組みを展開することで、住み慣れた地域で住み続けられる高齢期の安心を実現し、また緑豊かなゆとりある住環境の北広島団地の魅力を若い世代に発信することで、新しい風を地域に呼び込み北広島団地地区を新たに成長するエリアとして推進する。
- ・ 高齢者が安全に安心して暮らせる居住環境を実現するため、高齢期の生活に適した利便性の高い住宅への住み替えや、高齢化等により増加している空き家ストックを魅力ある住宅ストックとして円滑に流通する仕組みを官民連携により推進する。
- ・ 教育環境の充実は、子育て世代の定住や企業誘致など活力ある自立したまちづくりにおいて大きな要素となることから、質の高い魅力ある教育環境の実現に向けた取組みを推進する。



3 具体的な施策と重要業績評価指標

分類	具体的な施策・事業	重要業績評価指標 (H31)	担当課
時代に合った魅力あるまちづくり	◎魅力向上に向けたイメージ戦略の推進 北広島団地地区に若い世代を呼び込み、団地の若返りを図るため、“北広島団地”のネーミングを見直し、若い世代にも響くようなイメージ戦略を推進する。 (具体的な事業) ・北広島団地イメージアップ事業	多様なニーズに対応する住宅供給の満足度※3 7.8% (H26) →**%	企画課
	◎子育て世代の定住促進に向けた環境整備 北広島団地地区における容積率と建ぺい率を見直すことにより、北広島団地への人の流れをつくる。 (具体的な事業) ・市街地整備計画事業	住み替え支援の件数 10件	都市計画課
	◎住み替え支援制度の創設 子育て世代をゆとりの住環境である北広島団地へ、高齢者世代を利便性の高い地区に誘導するための住み替えを官民連携により推進する。 (具体的な事業) ・住み替え支援事業		企画課
	◎空き家の流動化促進 空き家の解体やリフォーム支援により、空き家の流動化を図り、戸建住宅建築の促進に向けた支援制度を官民連携により創設する。 (具体的な事業) ・空き家流動化促進事業	空き家の戸数 **件 (H26) →**件	企画課

※3 市民意識調査 (H26年度) における「生活環境 (⑩多様なニーズに対する住宅共有の充実) の満足度 (満足・やや満足)。



分類	具体的な施策・事業	重要業績評価指標 (H31)	担当課
公共交通の利用促進	<p>◎バス利用の促進に向けた取組みの推進</p> <p>将来的な公共交通の再構築を視野に入れながら、当面は、既存公共交通の維持確保を目的に利用者の増加に向けた取組みを推進する。</p> <p>(具体的な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活バス路線利用促進事業 	路線バス利用者数の減少率が人口減少率以下	企画課
次代を担う子どもたちに向けた取組	<p>◎魅力ある教育環境の整備</p> <p>教育環境の充実は、子育て世代の定住や企業誘致にもつながるまちづくりにおいて大きな要素となることから、一貫教育など特色ある教育環境を推進する。</p> <p>(具体的な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育推進事業 	中学校区における一貫教育の推進 100%	学校教育課
	<p>◎大志を抱く子どもたちの「夢」実現</p> <p>次代を担う子どもたちが夢や希望を持って、心豊かにたくましく主体的に成長できるよう、心に描く「夢」の実現に向け、子どもたちを応援する。</p> <p>(具体的な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども夢チャレンジ応援事業 	プロジェクトに参加する児童生徒 10名	企画課
ふるさとづくりの推進	<p>◎北広島市ふるさと会の設立</p> <p>移住・人材確保・企業誘致などにつなげるため、東京圏に北広島市ふるさと会を設立する。</p> <p>(具体的な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京ふるさと会設立事業 	会員数 200名	企画課



分類	具体的な施策・事業	重要業績評価指標 (H31)	担当課
都市のコンパクト化と公共交通ネットワークの形成	<p>◎利便性の高い魅力ある拠点地区の形成</p> <p>駅周辺の利便性の高い機能を活かすため、未利用地の活用や低利用地の高度利用など、駅周辺の一体的な整備を推進し、居住機能や福祉・商業等の様々な機能の集積を図る。</p> <p>(具体的な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立地適正化計画策定事業 	計画策定 ^{※3}	企画課
	<p>◎地域全体を見渡した公共交通網の形成</p> <p>地区間を結ぶ路線の充実や団地内完結路線の抜本的見直しなど、市民ニーズに合致した利便性の高い持続性のある公共交通網を構築する。</p> <p>(具体的な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通網形成計画策定事業 	計画策定 ^{※3}	企画課

※3 計画策定後、目指す方向性を考慮した評価指標を設定する。



基本目標 4

『挑戦』～チャレンジできる環境をつくり、起業と雇用を促進する～

<現状>

・市内の5つの工業団地を中心に約300社の事業所が操業しており、中でも大曲地区の工業団地では道内主要新聞の印刷工場が集中する拠点となっている。また、輪厚地区の工業団地は、地理的優位性、リスク分散、産業インフラの整備など優れた立地環境から順調に企業の進出が決まっており、雇用効果や経済効果など高いポテンシャルを有している。

1 数値目標

指標	基準値 (H26)	目標数値 (H31)
市の産業・雇用の市民満足度	9% ^{※4}	**%

※4 市民意識調査 (H26年度) における「産業・雇用 (①企業の集積②市内産業の拡大③雇用の場の確保④農業の振興)」の満足度 (満足・やや満足) の平均値。

2 基本的方向

- ・本市にゆかりのある3偉人 (中山久蔵・和田郁次郎・クラーク博士) に共通する「チャレンジ精神」をまちのブランドとし、大志をいまく多様な人材が自らの能力を十分に発揮し活躍できる就労環境の実現を推進する。
- ・新たな試みを持つ人たちを応援するまちになることで、人の流れをつくり、北広島発のイノベーション (新しい事業分野や価値) を創造し、地域の活性化や雇用の創出を推進する。
- ・農業経営の多角化や六次産業化に向けた取組など、農産物の付加価値を高めることで、農業を核とする新たな産業を創出し所得向上や雇用の創出を促進する。
- ・本市には、建設業や製造業、運輸業など、様々な企業が操業しており、地域経済の活性化や雇用の場として、企業の活力がまちの発展をけん引している。企業間の連携や企業の成長拡大に向けた支援のほか、市内での人材確保に向けた取組みを企業と行政が一体となって推進する。

3 具体的な施策と重要業績評価指標

分類	具体的な施策・事業	重要業績評価指標 (H31)	担当課
起業支援	<p>◎新たな事業の創出・挑戦への支援</p> <p>若者も高齢者も関係なく、大志をいだく人たちが、北広島市でチャレンジできる仕組みをつくる。市の活性化につながり、将来性と魅力ある事業プランに対して支援する。</p> <p>(具体的な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業促進支援事業 	新規起業数 10件	商業労働課
地場産業の強化	<p>◎農業を核とした新たな産業の展開</p> <p>農産物を原材料とした加工品の製造・販売など、地域ぐるみで農産物の付加価値を高め、所得向上や雇用促進につなげる。農業を核とする新たな産業を創出することで、農業の振興と地域の活性化を図る。</p> <p>(具体的な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・六次産業化推進事業 ・グリーンツーリズム推進事業 (施設整備) ・グリーンツーリズム推進事業 (利子補給) ・市内農産物を利用した商品開発応援事業 	六次産業化等に取り組む農業者等 1事業者 新商品の開発数 3件	農政課
企業との連携・支援の強化	<p>◎企業と連携した取組み</p> <p>市内企業限定の雇用促進事業を開催する。生産年齢人口の減少を背景とした企業の労働者不足の解消に向けた人材確保への取組みを企業と行政が一体となって推進する。雇用促進に向けては、企業を知ってもらうことが重要であり、そのため、優れた技術や製品などを有する市内企業のPRや情報発信にも取り組む。</p> <p>(具体的な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用対策事業 (企業合同雇用促進) 	企業と連携した雇用促進事業への参加 企業10社	商業労働課